

※時間割コードは10桁です。
 表記されている6桁(D~)+4桁(0001)で10桁です。なお、@2がついているコードはプラスする4桁は(0002)としてください。例 月曜1・2限 入門物理学演習:D310300002

令和8年度 前期授業時間割表

—2019年度以降入学者—

三重大学工学部

曜日	1・2限				3・4限				5・6限				7・8限				9・10限						
	時間	コース	授業科目	教員	時間	コース	授業科目	教員	時間	コース	授業科目	教員	時間	コース	授業科目	教員	時間	コース	授業科目	教員			
月	8:50	全コース	(英語1大学基礎)		10:20	M	化学 I (D31820) 勝又・岡崎 (2025年度以降入学生向け)	15	12:00	M・E・J	(スポーツ健康科学A)		14:30	C・A・J	(スポーツ健康科学A)		16:10						
						E1~35	[基礎物理学I]			A	建築概論 (D37010) 高岡	アトリエ							A	建築力学 I (D37540) 田端	15		
						E36~	[基礎物理学I]																
						EJ1~20	[基礎物理学I]																
火		E・EJ	電磁気学 I (D33110) 佐藤(英)	28		M	情報工学 (D31560) 松井(博)	20		M	工業数学A(ベクトル解析) (D31040) 工業数学A・工業数学B演習 (D31060)	吉川	28						M	工業数学B(複素関数論) (D31050) 高橋(裕)	28		
		A	建築設計製図 I (D37240) 計画系教員			C	微分方程式 (D35010) 肥田野	17		C	無機化学演習 A (D35070)	橋本	27										
		J	電気回路 (D39140) 林田	17						J	(物理学実験)												
水						M	輸送現象論 I (D31680) 辻本	17		M	電気電子回路 (D31400)	早川	20		M	統計力学(機械) (D31530) 鳥飼(正)	20		M	流体機械システム工学 (D31480) 藤田	20		
						M	制御工学・輸送現象論 I 演習 (D31690) 辻本	17															
						E	電気電子実験 I (D33200) 各教員	17															
						C	化学工学 (D35400) 岡	27		C	化学実験 I (D35260) 鉄筋コンクリート構造 (D37140)	各教員	25 他		A	景観設計 (D37350) 三宅(論)	1						
木						J	オペレーティングシステム (D39340) 河内	27		J													
						A	建築構造設計演習 (D37420) 佐藤(公)	1															
金																							

共通教育で実施する授業科目のうちクラス指定の科目は〔 〕内です。
 工学部で実施する専門教育科目は**ゴシック(黒文字)**で示す。
 ホームルームは履修申告の必要はないが、他の授業を入れること。
 1年次・・・「安全教育(工学倫理)」は、オンデマンド開講とする。日程等の詳細は、掲示を確認すること。
 2年次・・・「先端技術基礎」は前期集中講義とする。日程等の詳細は、掲示を確認すること。
 3M・・・「知的財産権概論」は前期集中講義とする。
 4A・・・「建築英語」は所属する研究室で実施されるので、日程等の詳細は指導教員に確認すること。
 3J・・・「実践ソフトウェア開発演習」は前期集中講義とする。

2M・・・「工業数学A」、「工業数学B」とともに「工業数学A・工業数学B演習」を履修すること。
 2M・・・「流体工学基礎」、「工業熱力学」とともに「流体工学基礎・工業熱力学演習」を履修すること。
 2M・・・「力学」、「材料力学」とともに「力学・材料力学演習」を履修すること。
 2M・・・「工業数学A・工業数学B演習」、「流体工学基礎・工業熱力学演習」、「力学・材料力学演習」を履修する学生は、下表の時間割コードで履修すること。
 1E・EJ・・・「社会共創概論」は火曜または水曜の9・10限に講義日指定で開講する。1年担任
 3C・・・今年度は「応用化学特別講義III」「応用化学特別講義IV」は後期に開講する。
 3A・・・今年度は「木質構造」は後期に開講する。

M: 機械工学コース
 E: 電気電子工学コース
 EJ: 電子情報工学コース
 C: 応用化学コース
 A: 建築学コース
 J: 情報工学コース

卒業研究等の時間割コードを次のとおり示す。

4M 「卒業研究」J-(D20030)M	4E 「卒業研究」J-(D20030)E	4C 「卒業研究」J-(D20030)C	4A 「卒業研究」J-(D20030)A	4J 「卒業研究」J-(D20030)J
3M 「工場見学」J-(D31590)	4E 「専門英語」J-(D33220)	4C 「専門英語」J-(D33280)	4A 「建築英語」J-(D37290)	
23M 「インターンシップ I (工場実習)」J-(D31600)	3E 「インターンシップ I」J-(D33570)	3C 「インターンシップ I」J-(D35470)	3A 「インターンシップ I」J-(D37490)	3J 「工場見学」J-(D39490)
23M 「インターンシップ II」J-(D31610)	3E 「インターンシップ II」J-(D33580)	3C 「インターンシップ II」J-(D35460)	3A 「インターンシップ II」J-(D37500)	3J 「インターンシップ I」J-(D39470)

上記以外の授業科目(時間割コード)を次のとおり示す。

2E・・・「先端技術基礎」J-(D20060)	2M 「工業数学A・工業数学B演習」J-(D31060)E	2M 「力学・材料力学演習」J-(D31120)E	3M 「知的財産権概論」J-(D31580)
1E・・・「安全教育・工学倫理」J-(D20050)	(再履修生)	(再履修生)	
	2M 「流体工学基礎・工業熱力学演習」J-(D31190)E	1E・EJ 「社会共創概論」J-(D33650)	3J 「実践ソフトウェア開発演習」J-(D39520)
	(再履修生)	(再履修生)	

※時間割コードは10桁です。
 表記されている6桁(D~)+4桁(0001)で10桁です。なお、()の後ろに@番号・記号がついているコードにおいてプラスする4桁は(0002)や(000M)などとしてください。
 例 「工業数学A・工業数学B演習」(再履修生):D310600002
 ・4E「卒業研究」:D20030000E